

世界最高レベルの 鉄人レースに挑戦



工藤 政年さん (虻6区)



8月23日、洞爺湖を主会場に開催されたアイアンマンジャパン北海道2015に出場し、スイム3・8^キ、バイク180・2^キ、ラン42・2^キの難コースを14時間6分6秒で完走しました。「地元で出場する人がいな

く、最後の大会になるかもしれない」と思い、今年の大大会出場を1年前に決意。特に水泳と自転車を、人生で初めて本格的に練習しました。高校では陸上部に所属し、社会人になっても、洞爺湖マラソンや函館ハーフマラソンなどに参加するなど競技を続けてきました。ここ最近では距離を伸ばし、サロマ湖100^キマラソンに挑むなど、長距離走に磨きをかけてきました。「苦手の種目で厳しいコースを克服した喜びは、今まで経験してきた競技とは違って、ものすごい達成感がある」とアイアンマンレースを振り返ります。現在、小学生の子ども2人も、トライアスロンのジュニアコースに参加しており、

「いつかは、家族で鉄人レースに挑みたい」とこれからの夢を話してくれました。

次期噴火に備えて

防災訓練実施

自衛隊など6機関約330人が参加しました。

有珠山の噴火警戒レベルが4（避難準備）に引き上げられたとの想定で、午前9時に消防サイレンに続いて防災行政無線と緊急速報メールで避難が呼び掛けられました。

住民らは、それに応えて一時避難場所に集合し、バスで指定避難所へ向かいました。直接車で同所へ移動する訓練も合せて行われました。

引き続き有珠火山観測所の責任者である大島弘光氏による「次期噴火に備えて」と題した講演が、虻田小学校体育館で行われました。

訓練総評で、真屋町長は「有珠山も噴火から15年経ち、いつ噴火するかわからない。

災害に強いまちづくりを進めていきたい」と話しました。

訓練終了後は、陸上自衛隊第7師団や洞爺湖町赤十字奉仕団の協力で、参加した町民に炊き出しのカレーが提供されました。



一時集合場所からバスで避難所に移動する住民たち

本町保育所・入江保育所 合同運動会

9月19日、本町保育所・入江保育所合同運動会が、虻田小学校体育館で行われました。

前日に不安定な天気を考慮して、同小のグラウンドから会場を変更しました。

園児93名は、屋内での開催も気にせず、かけっこや遊戯、リレーなど、父母らの前で元気な姿を披露しました。



元気にかけっこする園児



親子いっしょで競うでかばん競技